

# 防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会  
会報 第200号(2023.10.1)  
事務局 川西地区自主防災会

## 「防災・減災の輪」200号 知事お祝いメッセージ

かがわ自主ぼう連絡協議会会報誌「防災・減災の輪」200号の発行、誠におめでとうございます。

かがわ自主ぼう連絡協議会の皆様方には、日頃から共助の要として、香川県の地域防災力の充実・強化に多大なご貢献をいただき、感謝申し上げます。

「防災・減災の輪」は、これまで16年を超える長きにわたり、県内の自主防災に関わる方々に、各地域での優れた取組みや、新しい防災情報などの紹介をするなど、本県の防災力の向上に大きな役割を果たしています。これまで会報誌の発行に携わってこられました岩崎会長をはじめ、会員の皆様に深く敬意と感謝の意を表します。



近年では、全国各地で災害が激甚化、頻発化、多様化しており、本年5月には石川県能登地方で最大震度6強の地震が発生し、さらに8月には勢力の強い台風が立て続けに日本に接近し、各地で線状降水帯が発生するなど、甚大な被害をもたらしました。

南海トラフ地震の発生確率が高まる中、本県においても、大規模な災害がいつ発生してもおかしくない状況にあります。

大規模な災害が発生した場合、少しでも被害を軽減するためには、自らの身は自ら守る「自助」、地域の住民が助け合って守る「共助」、行政による「公助」が連携・協働することが極めて重要であり、「共助」の要として、自主防災組織の皆様の果たす役割は、ますます大きなものとなっています。

県としても、引き続き、自主防災組織の充実・強化に取り組んでまいりたいと考えていますので、どうぞよろしく願いいたします。

かがわ自主ぼう連絡協議会の皆様方の今後益々のご健勝、ご活躍を祈念いたしますとともに、本誌が防災活動に熱意をもって取り組まれている皆様の大きな力となることを期待しましてお祝いの言葉といたします。

香川県知事 池田 豊人

## 「防災・減災の輪」200号発行を振り返って

「防災・減災の輪」めでたく200号を発行することが出来ました。会報の発行にあたっては、多くの皆さんに支えられたおかげでございます。誠にありがとうございました。

発行作業を振り返りますと、初号から30号位までが大変でした。小生（岩崎）NTTドコモ四国に在籍しておりました関係で事務局活動はドコモ四国内の社内で行なっておりました。

神経を使ったのは、カラーコピーを大量に使用するとき、企業として、経費節減は常に徹底しておりましたので会報の印刷も3回位に分けて行ないましたし、発送する郵便料も会社の経費を使わせていただいておりますので、かがわ自主ぼうの会報発行には気を使いながら行ないました。

以降は事務局業務及び発刊業務ををe-とぴあ・かがわの皆様を支えていただきながら、丸亀市の川西コミュニティセンターで行なうようになって、私（岩崎）自身、ずいぶんと助かりました。

又、原稿面においては、香川大学の長谷川先生と、高松気象台の防災気象官の皆様には、大変お世話になりました。

100号達成までには、元香川県防災指導監の乃田様、更には防災エキスパートで、国交省ご出身の松尾様にも、とても勉強になる原稿を送っていただきました。

このほか、丸亀市の山倉建設の社長さんと最後に新山本小学校の校長先生をつとめられました山下昌茂様など自主防災に関わる多くの関係者の方々に素晴らしい原稿をいただきました。

県内の市長、町長さんにもインタビューさせていただき、記事とさせていただきます。

お世話になった方は多く、感謝してもしきれませんが、最後に会報発送後、必ずハガキにてコメントをいただいている徳増（高松市在住）さんにも199号までハガキをいただき、本当にありがとうございました。

これまでの多くの皆様に支えられ、書いているあいだに涙がでてきました。200号発行を節目として、新た意気込みを持って、進めて参る所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げ、200号発行のお礼とさせていただきます。

かがわ自主ぼう連絡協議会 会長 岩崎正朔

## これまで「防災・減災の輪」に携わった 県の担当者からのメッセージ

平成 27 年度～平成 28 年度 担当 藤沢 陽大

「防災・減災の輪」記念すべき 200 号の発刊、誠におめでとうございます。

岩崎会長や岡理事と一緒に打合せをしていた月々を思い浮かべながら、そういえば、私が担当していた 8 年前が 100 号記念だったなあと当時の記憶を思い出しました。それからまた 8 年間、一度つながった輪が途切れないよう、毎月の発刊に御尽力されてきた編集スタッフの皆様には敬服するとともに、ネタ切れになることなく続いているのは、かがわ自主ぼう連絡協議会の皆様方のたゆまぬ継続的な活動があってこそだと思います。さすがです！

さて、かがわ自主ぼう連絡協議会の皆様との思い出で、一番記憶に残っているのは、高校生と地元自主防災会の避難訓練支援です。冬の寒い時期での炊き出しで、訓練参加者は温まったけれど、かがわ自主ぼう連絡協議会の女性陣には大変寒い思いをさせてしまい、申し訳ありませんでしたが、熱いご指導をいただいたことです。この度、新たに女性部を創設されたということで、ぜひ気配りを大切にご活躍ください。それでは、かがわ自主ぼう連絡協議会の今後益々のご発展と、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

平成 29 年度～平成 30 年度 担当 柴田 中

防災・減災の輪、記念すべき 200 号おめでとうございます！

今でも防災訓練や被災地ボランティアの報道を見るたびに、かがわ自主ぼう連絡協議会の皆さんの顔が思い浮かびます。

さて、最も印象的な記憶は、平成 30 年防災功労者内閣総理大臣表彰です。この賞は、防災担当大臣表彰と総務大臣表彰を受賞した団体の中から、さらに選抜されるという防災活動表彰の中でも最高の賞で、かがわ自主ぼう連絡協議会は、地域や学校での継続的な防災・啓発活動、被災地支援や支援ノウハウの展開に取り組んだことが評価され、受賞されました。

首相官邸での表彰式、私は幸運にも随行という形で立ち会い、代表として参加された岩崎会長の堂々とした立ち居振る舞いや笑顔を写真に収めました。

当時の防災・減災の輪の中に、立派な賞を受けても、活動を縮小せず、更なる地域防災力強化にまい進するという記述がありますが、今般の 200 号刊行はまさにそのものであり、尊敬の念に堪えません。今後一層のご活躍を祈念しております。

令和元年度 担当 住瀬 棕亮

防災・減災の輪が 200 号を迎えられたということで、誠におめでとうございます。月日が経つのは早いもので、私が担当の時に 150 号記念を迎えたのですが、その際に岩崎会長から「200 号までは必ず発行したい」という抱負をお聞きしたことが昨日のことにように思い出されます。

さて、私が担当だった当時の思い出についてですが、印象に残っているのは自主防災組織リーダー研修会です。

研修会では HUG 訓練を実施したのですが、進行の都合で短時間の訓練時間となりました。かがわ自主ぼう連絡協議会の皆さんとの打ち合わせでは、実際の避難所運営の経験に基づき、短時間の訓練でも必ず押さえるべきポイントをご教示いただき、緊迫間のある有意義な訓練とすることができました。

最後になりましたが、この防災・減災の輪は、かがわ自主ぼう連絡協議会の皆さんの長年の防災活動に基づいた災害時に役立つ豆知識がたくさん詰まっていますので、今後とも地域の防災活動に幅広く活用されていくことをお祈り申し上げます。

令和 2 年度～令和 3 年度 担当 長谷川 純平

かがわ自主ぼう連絡協議会の皆様、ご無沙汰しております。

この度は、会報誌「防災・減災の輪」の記念すべき 200 号の発行、誠におめでとうございます。皆様とは短い期間ではありましたが、業務を通じて非常に貴重な経験をさせていただきました。

特に私の担当させていただいていた期間は、新型コロナウイルスの流行が始まり、自主防災活動も従前どおりとはいかず、感染症対策を踏まえた新しい手法を模索していた時期でもありました。

そうした中で実施した、令和 2 年度の香川県総合防災訓練における避難所運営訓練では、避難所受付の手指消毒・検温体制の準備、段ボールパーティションの設置による避難スペースの確保など、感染症対策を踏まえた住民避難という、皆様方の先進的な手法を、地元の自主防災組織の方に学んでいただける貴重な機会であり、大変思い出深いものになりました。

最後になりますが、今後皆様の益々のご発展を心からお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和4年度～令和5年度 担当 山西 雄大

かがわ自主ぼう連絡協議会会報誌200号発刊おめでとうございます。

私が危機管理課の自主防災組織の担当になった年が、かがわ自主ぼう連絡協議会結成15周年の節目の年でした。そして、今回会報誌200号発刊の節目ということで、かがわ自主ぼう連絡協議会と運命的な何かを感じています。

かがわ自主ぼう連絡協議会との思い出ですが、15周年記念講演会のなかで、講師の方に急きょステージの上と呼ばれ、地震の揺れ方のモデルとして、実験台となったのは、大変心に残っています。

また、地元自主防災組織と店舗との合同避難訓練を見学させていただいたことも強く印象に残っています。お客さんのいる営業中の店舗のなかで、訓練放送が流れると、お客さんが買い物かごなどで頭を守りながら、避難訓練を行っているのを見て、地域が一体となって防災に取り組むエネルギーのすごさを感じました。

最後になりますが、かがわ自主ぼう連絡協議会の今後益々のご発展と、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

## 会報発刊サポート担当者からのメッセージ

平成22年～編集サポート eーとぴあ・かがわ 寒川 里美

「防災・減災の輪」発刊200号おめでとうございます。

平成22年から編集発刊のお手伝いをさせていただいて、早13年も経ったのかと驚くばかりです。大学の先生から地域の活動紹介まで、毎年様々な業界の皆様から原稿を寄せていただきありがとうございます。

これからもかがわ自主ぼう連絡協議会の活動がますます広がっていくようお願いしております。

平成22年～会報発送サポート 川西コミュニティセンター 山崎 香里

「防災・減災の輪」発刊200号おめでとうございます。

平成22年、コミュニティセンターへ勤め始めてから13年、お手伝いをさせていただいております。発送封筒への宛名書きは毎月約200枚（全体では約500通）、慣れない筆書きで肩がパンパンになりますが、会員様にお褒めの言葉をいただくこともありました。

かがわ自主ぼう連絡協議会の益々のご活躍を願うとともに少しでもお役に立てるよう頑張っております。